2025年

島根県拠点

奥出雲地域の世界農業遺産に至る道のりを紹介します!

~ たたら製鉄を再適用した奥出雲地域の持続可能な水管理及び農林畜産システム~

島根県東部は古くは出雲国と呼ばれ、広島県と鳥取県に接する現在の奥出雲町及び周辺の地域を奥出雲 地域と呼んでいます。

奥出雲地域の中でも、船通山を源流とする一級河川の斐伊川上流の 山間部は、深層風化が進んだ花崗岩地帯であり、良質な砂鉄を含む真砂 土が採掘でき、西暦 733 年に編纂された出雲国風土記には、道具を造 るのに適した鉄を産出していたことが記されています。



水を湛え始める「追谷棚田」

奥出雲地域の発展

江戸時代、松江藩は藩財政の柱として和鉄生産を9家の鉄師に割当て、統制管理しました。その中で、斐 伊川の源流に位置する仁多郡(現在の奥出雲町)には、鉄師の5家が拠点を構えていました。



祠やお墓の場所は採掘されず残った鉄穴残丘

鉄を生産するためには、「たたら場」のみならず、原料 の採掘、燃料の木炭生産、原料や和鉄等を運搬する使役 牛馬が必要となります。

砂鉄は、水路やため池を築き、水の力を利用して山を 切崩し、水流により土砂と砂鉄を効率よく分ける「鉄穴 (かんな)流し」という技術により取出されました。

また、山を切崩した跡地を放置することなく、水路や

ため池も再利用して棚田を造成し、食料生産の基盤としました。

木炭生産の原料となる木が育つまで約30年かかるため、 山林を伐りつくすことがないよう年間に伐採する面積の約 30 倍の山林を輪伐する知識が定着しました。

和鉄等を運搬するためには、牛馬の役割が欠かせず、牛馬 の増頭と改良技術が発達しました。

奥出雲地域では、これらの産業に従事する人々が暮らし、 たたら製鉄と農業・林業・畜産業が結びついて発展してきま した。

また、棚田からの稲藁は牛馬の餌や敷藁に、牛馬の排泄物 は森の落葉、藁等と合わせ堆肥として棚田へ還元され、資源 が循環する仕組みが構築されました。



砂鉄採取跡地に開かれた「福頼集落」

たたら製鉄と結びついた農林畜産システムの継承

明治時代になり、西洋式製鉄技術の導入により「たたら製鉄」は衰退しますが、「たたら製鉄」を起源と した農林畜産業は、現在も資源を循環利用した農業として受継がれ、水路網・水管理は、棚田へ平等に分配 する慣習や水利関係者による共同の維持管理など水利組合に知識・技術が継承されています。(次面へ続く)

使役のための牛馬の飼養管理・改良技術等は肉用牛の生産に継承され、産肉能力の高い和牛の形質を 有する種雄牛「第7糸桜」を生み出すなど、奥出雲和牛の礎となっています。

森林の用途として、木炭の需要は減少しましたが、それに代わりシイタケなどキノコ生産の原木として利用され、森林資源の循環利用の知識として継承されています。







奥出雲和牛



原木シイタケ

日本農業遺産及び世界農業遺産の認定

奥出雲町は、「たたら製鉄」を背景に、農業基盤を作り上げた鉄穴流し由来の棚田や水路網、稲作・林業・畜産の資源循環技術を後世に残すべく、平成 28 年 8 月に「奥出雲町農業遺産推進協議会」(以下「推進協議会」という。)を立上げ、平成 3 I 年 2 月に「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」が日本農業遺産に認定されました。



奥出雲町庁舎に掲げられた横断幕

その後、推進協議会では、世界農業遺産の認定に当たり重要視される、先人が受継いできた伝統的農業の知識や技術、これまでの農林畜産業に繋がる生産活動が自然環境と調和しつつ文化や生物多様性を育み、現在の地域の環境と一体となったランドスケープ(日常生活における風景や景色)の特徴等について整理し、令和3年10月に世界農業遺産の認定申請を行いました。

その後、国連食糧農業機関(FAO)による書類審査、令和7

年7月の現地調査を経て、8月26日、「たたら製鉄を再適用した奥出雲地域の持続可能な水管理及び 農林畜産システム」として、世界農業遺産に認定されました。

この度の認定を受け、推進協議会会長の糸原 保 奥出雲町長は、「世界的に重要な農業地域として評価されたことは、先人及び農林畜産業を営む農家が情熱を持って取り組んできた結果であり、その価値を再認識し、世界農業遺産をいかした取組を進めたい。具体的には、仁多米や奥出雲和牛などの農畜産品のブランド化、たたら製鉄の歴史や文化と合わせた情報発信・PRを行い、子供達へのふるさと教育の充実を通じて、地域を担う人材の育成、次世代への農林業の継承につなげてまいりたい。」とコメントされました。 写真提供:奥出雲町

更に詳しくお知りになりたい方は、次の関連URLをご確認ください。

世界農業遺産とは:https://www.maff.go.jp/j/nousin/kantai/giahs_l_l.html (農林水産省ホームページ)

「たたら製鉄を再適用した奥出雲地域の持続可能な水管理及び農林畜産システム」 https://www.maff.go.jp/j/nousin/kantai/giahs_3_221.html (農林水産省ホームページ) https://www.town.okuizumo.shimane.jp/www/contents/1755475041452/index.html (外部リンク)

編集:中国四国農政局 島根県拠点

〒690-0001 松江市東朝日町192

TEL (0852)24-7311(内線240) 〈農政局HP〉 https://www.maff.go.jp/chushi/

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html